



WIN PARTNERS

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE



すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ

ウイン・パートナーズ株式会社

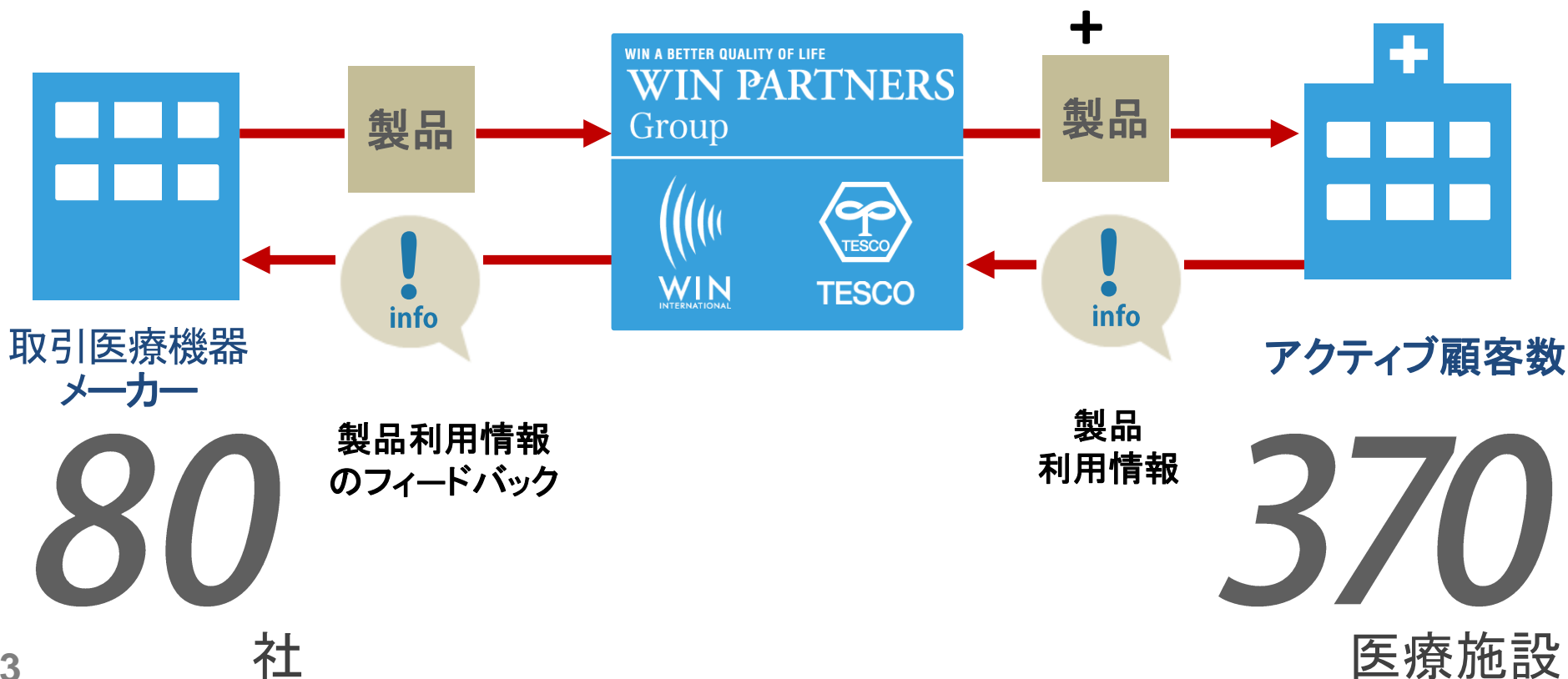
代表取締役社長 秋沢 英海

会社概要

医療機器販売を通じて 皆様の健康に貢献しています

医療機器の適正使用支援

病院のバリューアップ支援



医療は低侵襲の時代へ

単に病気を治すというだけではなく、身体の負担を軽減し、より効果的な治療へと向かっています。

(代表例)

- **カテーテル血管内治療**

- **内視鏡手術**

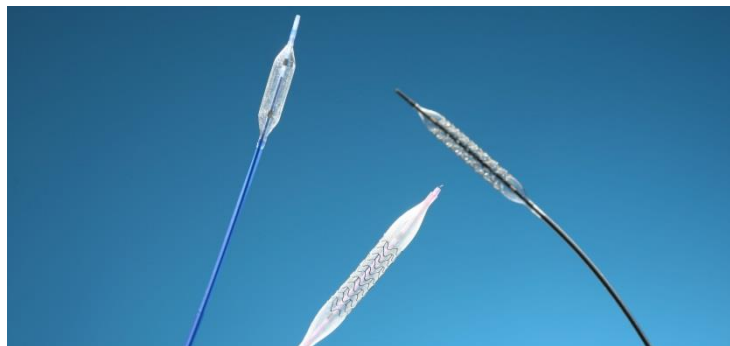
- **ロボット手術**

- **粒子線がん治療 等**

当社のターニングポイント

1993年

- 低侵襲医療に着目し、取扱品目を集約
- 米国で心臓カテーテル治療を学んだドクターとともに、国内での普及を推進



2013年

- 東北の医療機器商社テスコと経営統合し、持株会社体制に移行



1983年

首都圏

創業

主要地域

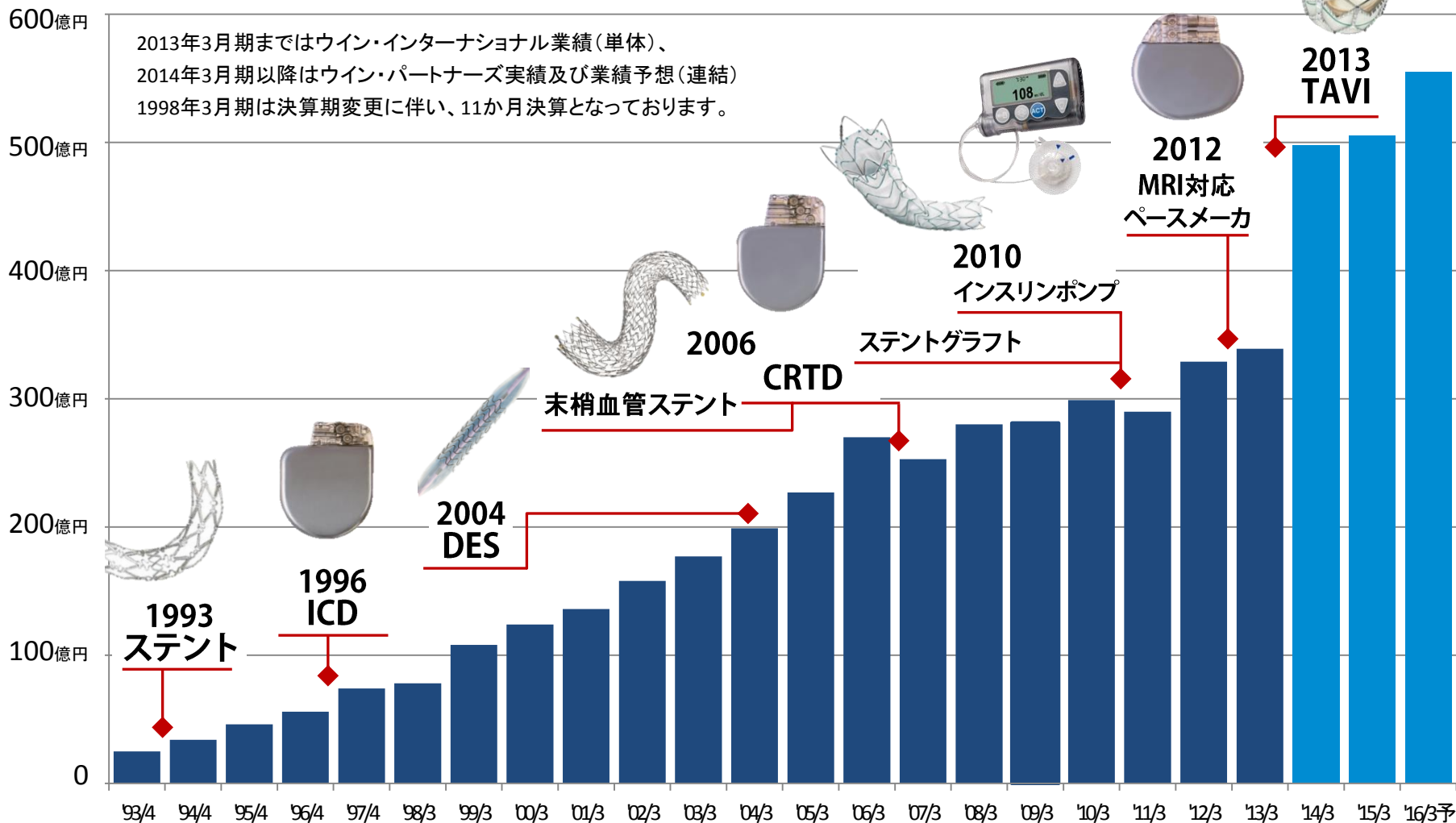
1973年

宮城県・福島県

低侵襲医療の拡大とともに成長

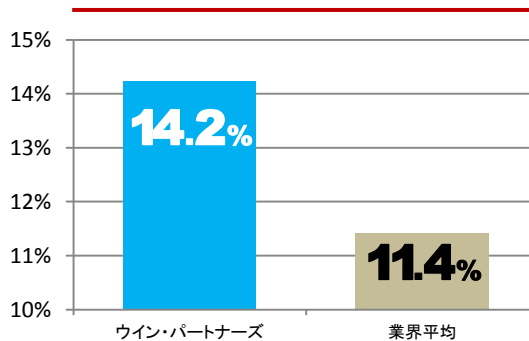
売上高の推移

2013年3月期まではウイン・インターナショナル業績(単体)、
2014年3月期以降はウイン・パートナーズ実績及び業績予想(連結)
1998年3月期は決算期変更に伴い、11か月決算となっております。

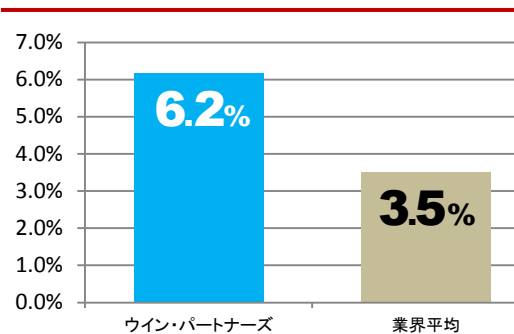


高い収益性と安全性

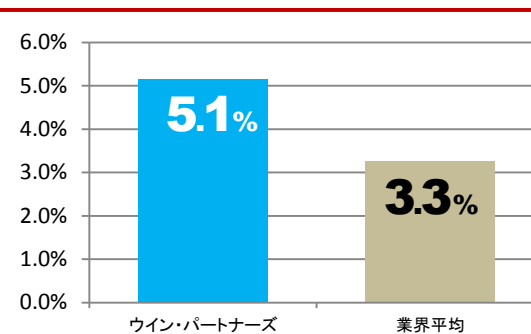
ROE



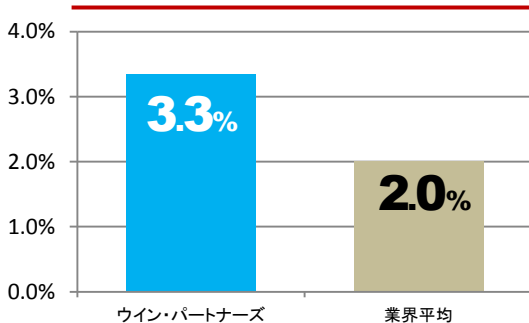
ROA



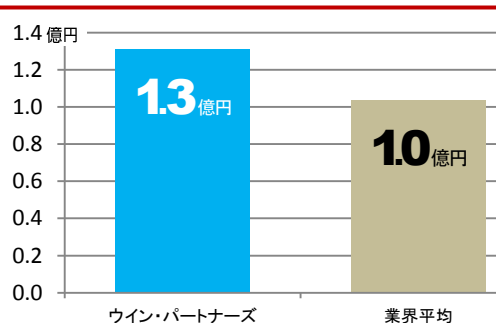
売上高営業利益率



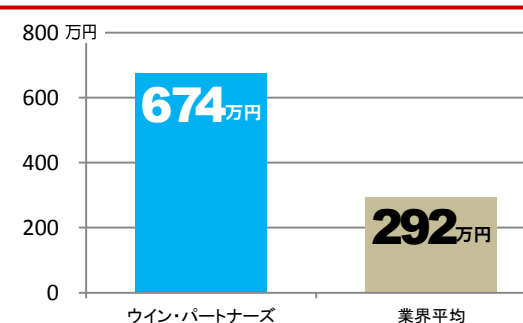
売上高当期純利益率



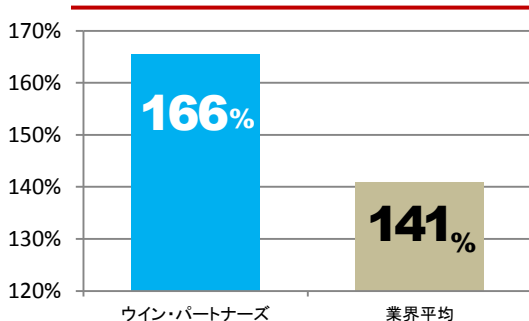
一人当たり売上高



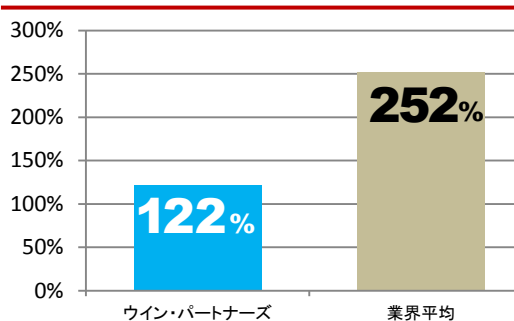
一人当たり営業利益



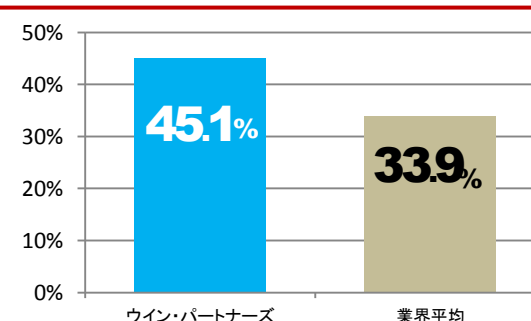
流動比率



負債比率



自己資本比率



※業界平均は当社、カワニシHD(2689)、山下医科器械(3022)、ほくやく・竹山HD(3055)、DVX(3079)、メディアスHD(3154)、シップヘルスケアHD(3360)、日本ライフライン(7575)の2014年度の有価証券報告書等に基づき当社作成。
5・6月決算の企業は本決算短信、人員情報は招集通知、「会社四季報」に掲載の値を使用して作成。

高い利益率をもたらす当社の基本戦略

1 成長性の高い「低侵襲医療」に特化

低侵襲医療とは苦痛や出血などの
身体的負担が少ない検査や治療

2 プロに徹したサービスの提供

顧客は大学病院や地域の有力医療機関が中心

主要取扱製品

狭心症/心筋梗塞

ステント



不整脈

ペースメーカー



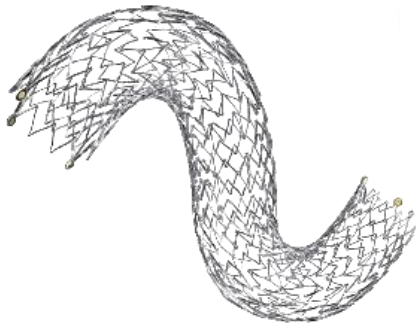
大動脈瘤

ステントグラフト



閉塞性動脈硬化症

末梢血管用ステント



脳動脈瘤

塞栓用コイル



糖尿病

インスリンポンプ



検査

MRI



サービス①: 適正使用支援

医療機器を正しく使う為の医療現場支援

手術前

- ◆手術プランニングの確認
- ◆症例に最適な医療機器の選択
- ◆使用方法の説明、出荷サイズの設定、納品等



手術中

- ◆緊急時対応の為、待機等



手術後

- ◆未使用品の回収、返品、代金請求
- ◆補充、在庫管理等



サービス②：病院のバリューアップ支援

医療の質向上や競争力強化を総合的に支援

高度医療化支援

- ◆最先端の技術、製品の提案
- ◆設備投資提案
- ◆人材補強支援



マーケティング支援

- ◆診療圏調査
- ◆ターゲット地域、診療領域の提案
- ◆集患、増患施策の提案



収益性改善支援

- ◆効率的なオペレーションの提案
- ◆コスト削減策の提案



今後の展望

成長戦略

1 心臓関連製品の拡大

- ◆ 新しい治療法の普及促進
- ◆ 新製品の拡大

2 治療領域の拡大

- ◆ 低侵襲治療を心臓以外へ拡大

3 地域、顧客の拡大

- ◆ M&A等により、全国主要都市へ展開

虚血性心疾患関連 (PCI)

経カテーテル冠動脈形成術

心筋梗塞、狭心症等を血管内から治療する低侵襲治療法

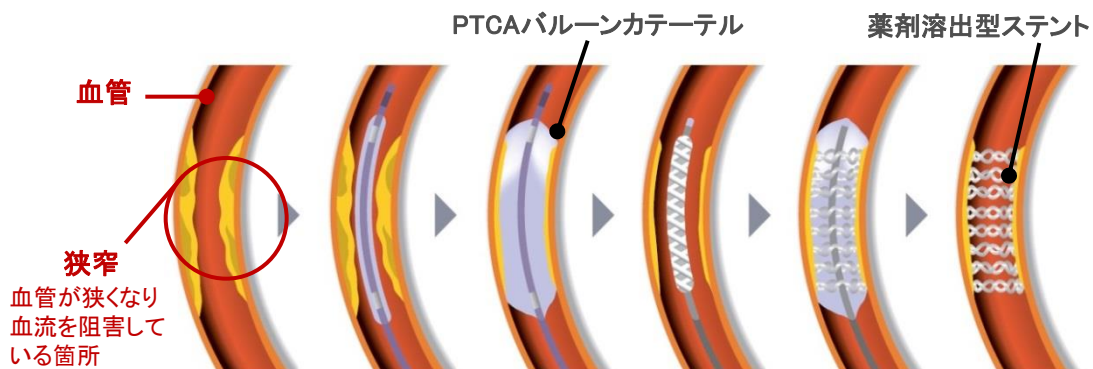
PTCAバルーンカテーテル



薬剤溶出型ステント(DES)



血管内超音波(IVUS)診断カテーテル



(出典) R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」

市場の伸びを上回る症例数

PCI 症例数推移



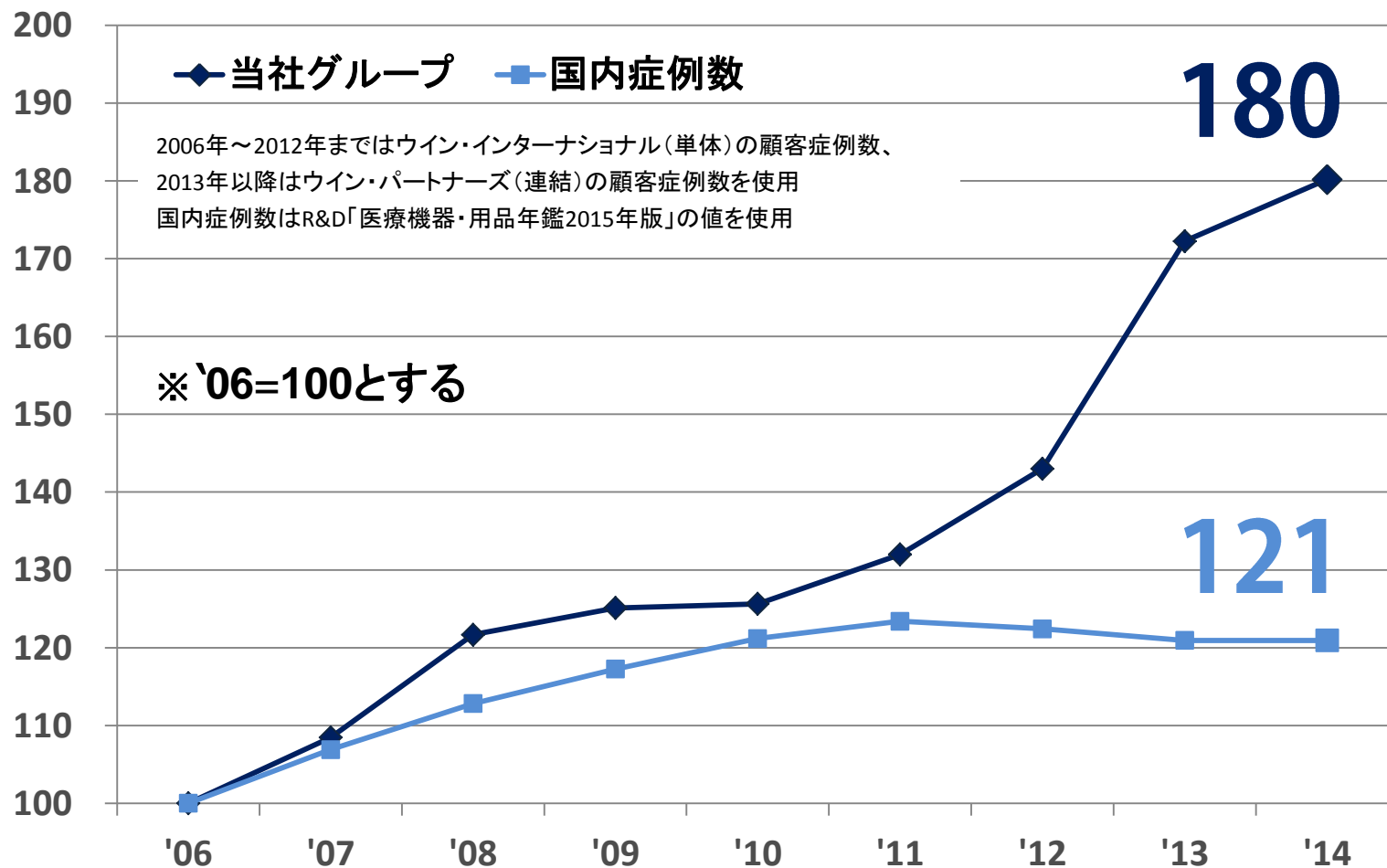
WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

グループ症例数
伸長率

年率 **7.6%**

国内PCI症例数
伸長率

年率 **2.4%**



180

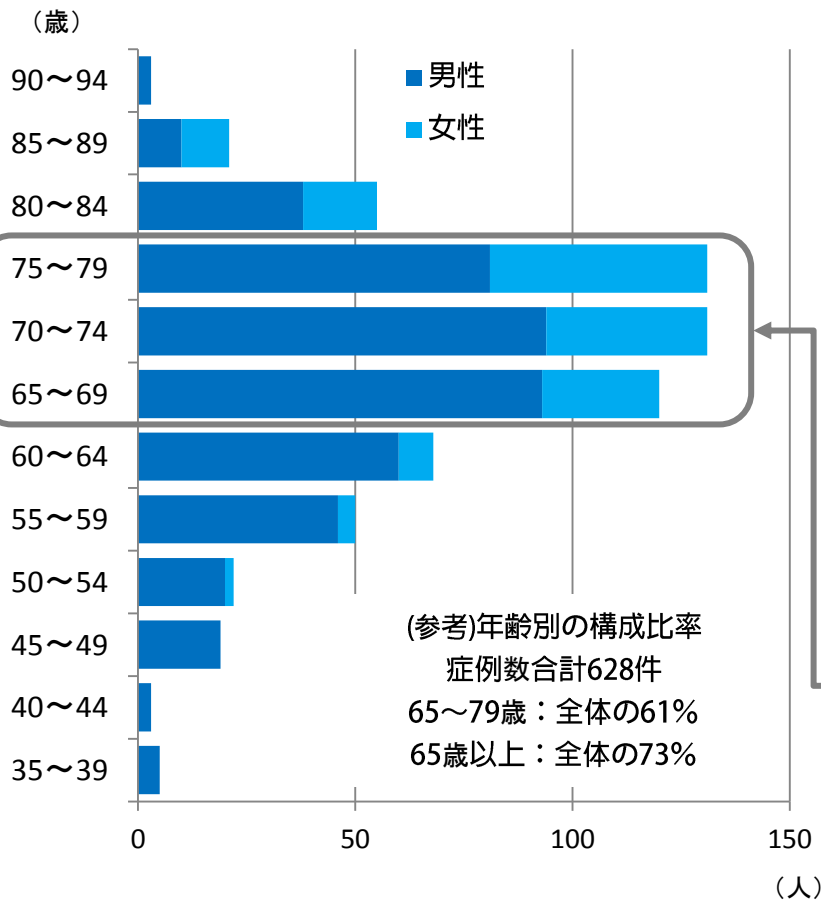
121

高齢化がPCIの追い風

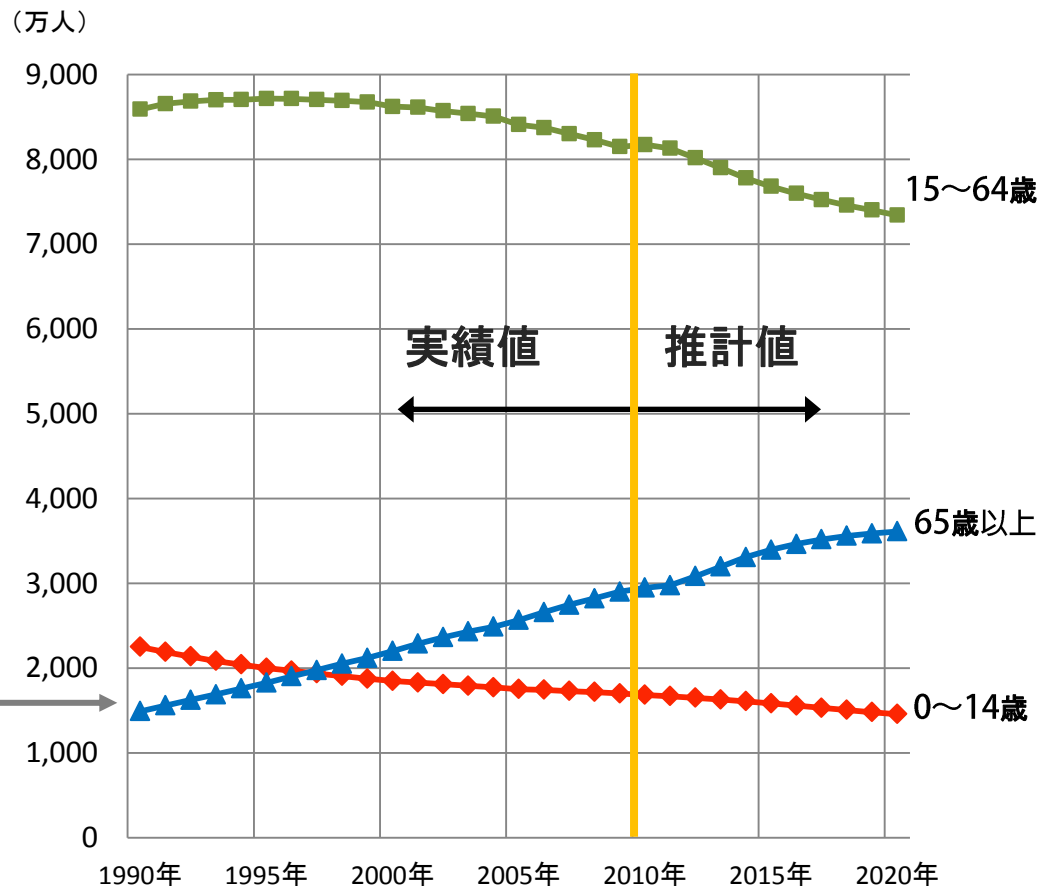
① PCIの中心患者は65歳～79歳

② 中心患者(65歳～79歳)人口が増加

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



年齢3区分別人口の推移



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)

心臓律動管理関連 (CRS)

ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

不整脈等を治療する医療機器を埋め込む治療法



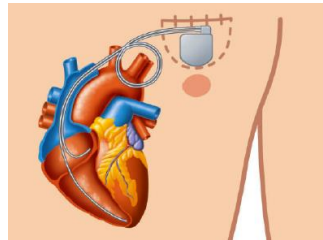
植込型
除細動器
(ICD)



ペースメーカー

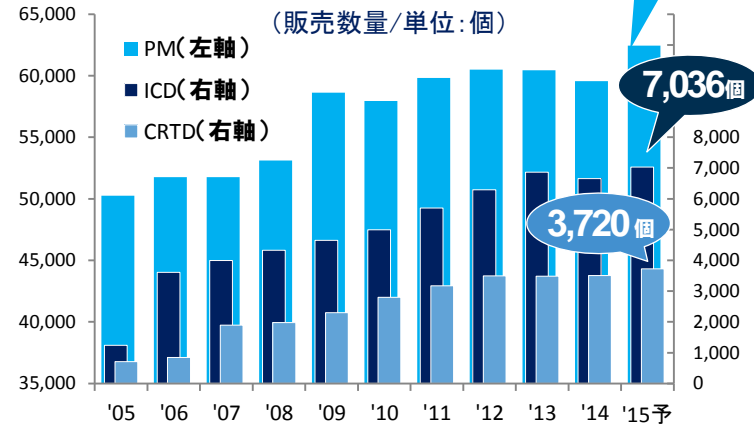


両室ペーシング
機能付き植込型
除細動器(CRTD)



心臓に電気刺激を送る

PM・ICD・CRTD 市場の推移

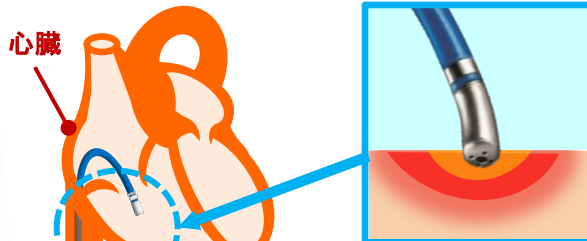


(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」

心筋焼灼術(アブレーション: ABL)

不整脈を引き起こす異常な部分を焼灼する治療法

ABL用カテーテル



高周波電流で
異常箇所を焼灼

ABLカテーテル 市場の推移

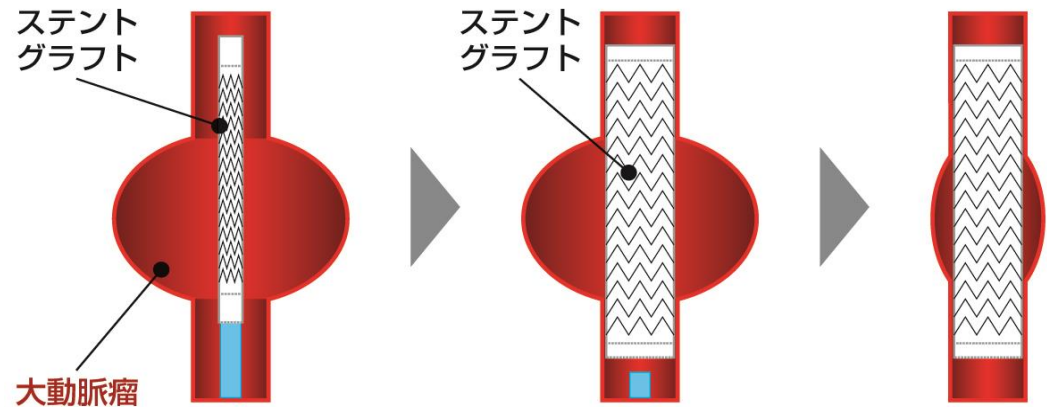


(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」

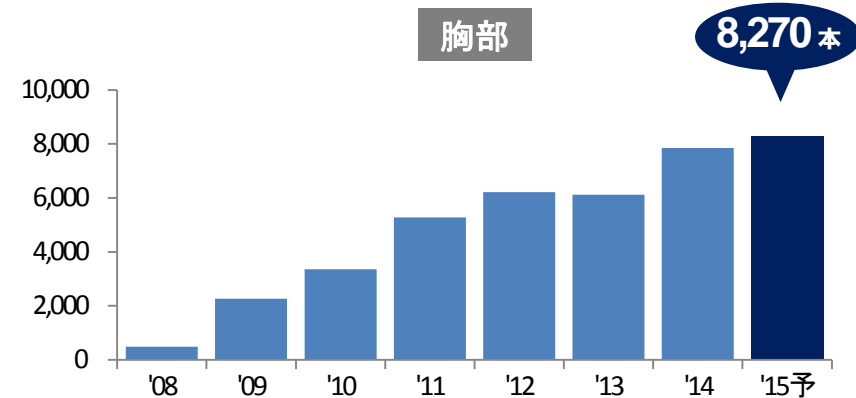
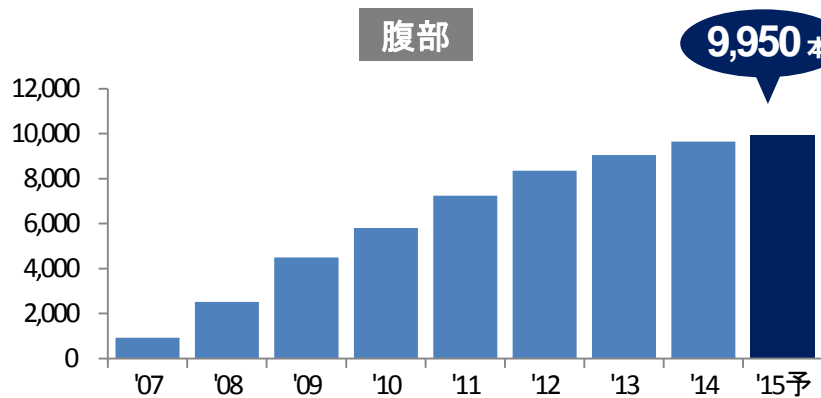
心臓血管外科関連 (CVS)

ステントグラフト内挿術

大動脈瘤等を血管内から治療する低侵襲治療法



ステントグラフト市場の推移 (数量/単位:本)



(出典) R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」

心臓血管外科関連（CVS）

経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）

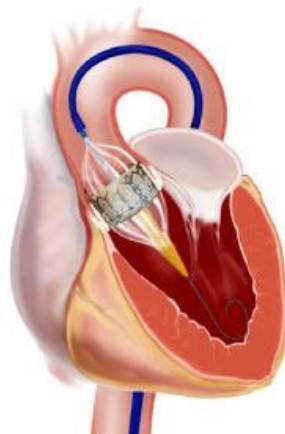
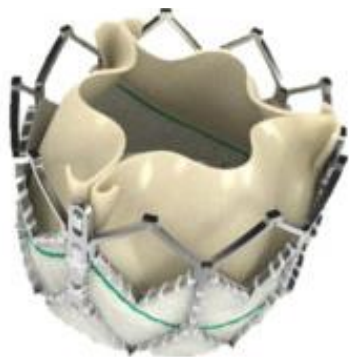
大動脈弁狭窄症の低侵襲治療。

外科手術ができない高齢患者や重症患者も治療可能に。

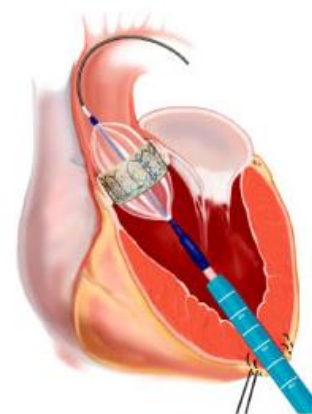
2013年10月より保険適用

バルーン拡張型人工生体弁セット（公定価格 ¥4,650,000）

TAVI用生体弁



足の血管からの治療



胸壁からの治療

末梢血管疾患関連 (PPI)

経カテーテル末梢血管形成術

下肢動脈等の血流悪化を血管内から治療する低侵襲治療法

シャント症例

腎臓病の治療で血液透析を行うため、動脈と静脈を縫い合わせた血管(シャント)に生じた狭窄等を治療

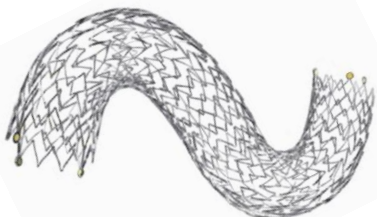
PTAバルーンカテーテル



末梢症例

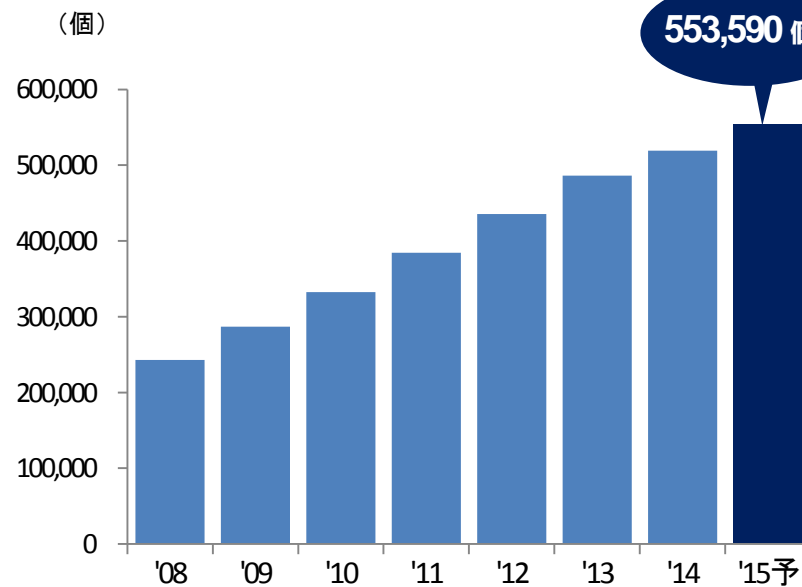
主に足の閉塞性動脈硬化症を治療

末梢血管用ステント



PPI市場の推移

(カテーテル・ステント等の数量)



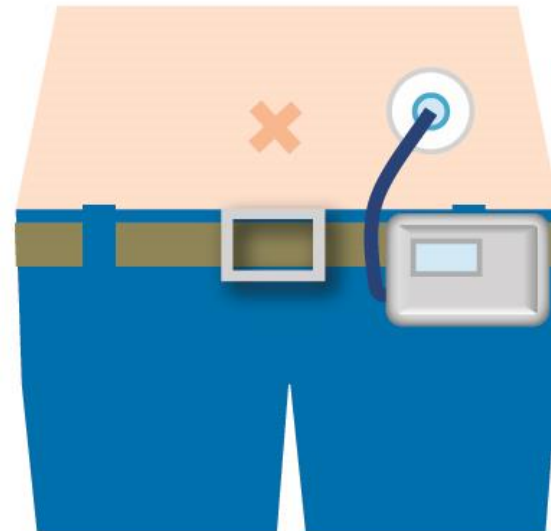
(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」

糖尿病関連(DMS)

インスリンポンプ療法

従来よりも適切な血糖管理が可能な糖尿病治療法

インスリンポンプ



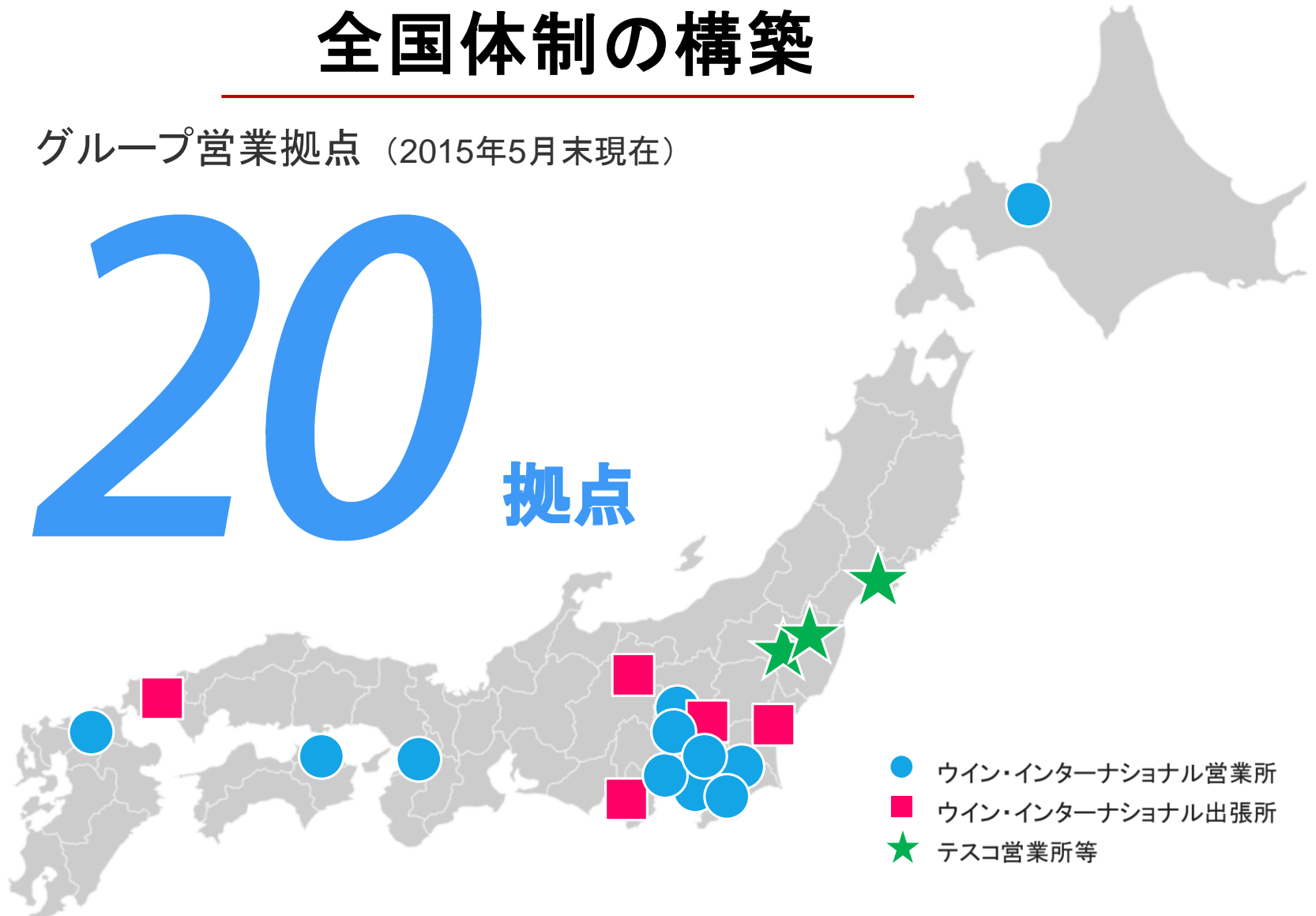
血糖値変動の測定データをインスリンポンプにプログラミングし、インスリンを持続的に体内に注入し、血糖値をコントロールする。

エリア戦略① 営業拠点の開設

全国体制の構築

グループ営業拠点 (2015年5月末現在)

20 拠点



エリア戦略② M&A

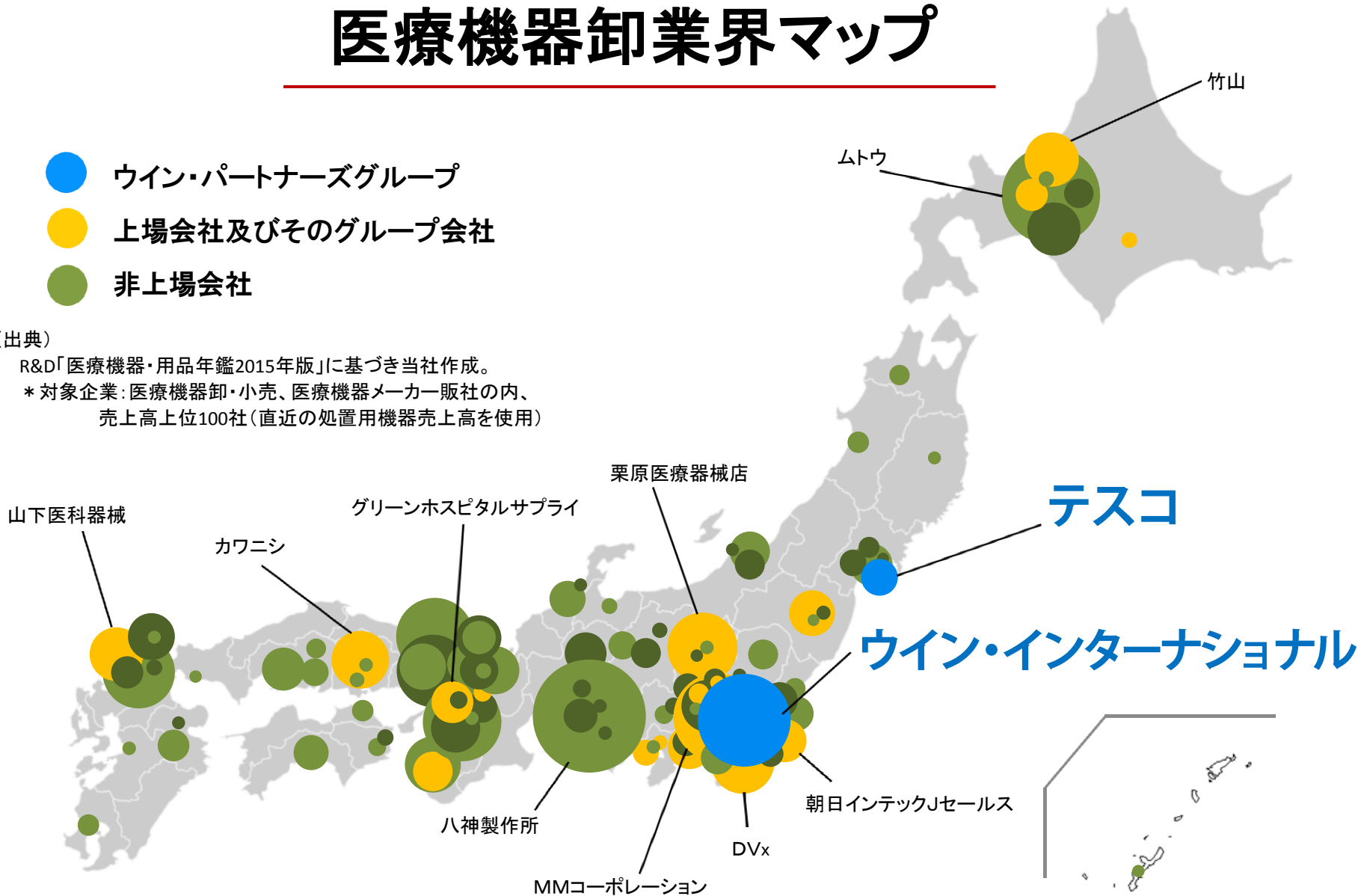
医療機器卸業界マップ

- ウイン・パートナーズグループ
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R&D「医療機器・用品年鑑2015年版」に基づき当社作成。

* 対象企業: 医療機器卸・小売、医療機器メーカー販社の内、
売上高上位100社(直近の処置用機器売上高を使用)



2016年3月期 通期予想

エリア拡大、成長分野の強化で増収増益

2016年3月期	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	55,500	100.0	+9.8
営業利益	2,950	5.3	+13.5
経常利益	2,950	5.3	+12.3
当期純利益	1,930	3.5	+14.2
1株当たり純利益(円)	134.46		+14.2
1株当たり配当金(円)	41.0		+7.9

分類別通期売上高見通し

	金額(百万円)	前期比(%)	構成比(%)
虚血性心疾患関連(PCI)	23,160	+9.9	41.7
心臓律動管理関連(CRS)	11,630	+15.7	21.0
心臓血管外科関連(CVS)	7,780	+16.0	14.0
末梢血管疾患関連(PPI)	2,920	+9.0	5.3
脳外科関連	1,660	+5.8	3.0
糖尿病関連(DMS)	730	+26.0	1.3
大型機器関連	3,580	▲10.7	6.5
その他	4,040	+3.8	7.3
合計	55,500	+9.8	100.0

2016年3月期 第1四半期実績

3割超の増益を達成

(単位:百万円)	前期 1Q	当期 1Q	前年同期比
売上高	11,630	12,582	+8.2%
営業利益	446	595	+33.6%
経常利益	449	599	+33.4%
四半期純利益	286	466	+63.0%
1株当たり四半期純利益(円)	19.93	32.49	-
1株当たり純資産(円)	770.68	858.67	-

配当方針

業績、経営基盤の強化および
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら
配当性向 **30%** 以上を目指します

2016年3月期 配当金予想

期末 **41** 円

主なリスク

リスク要因

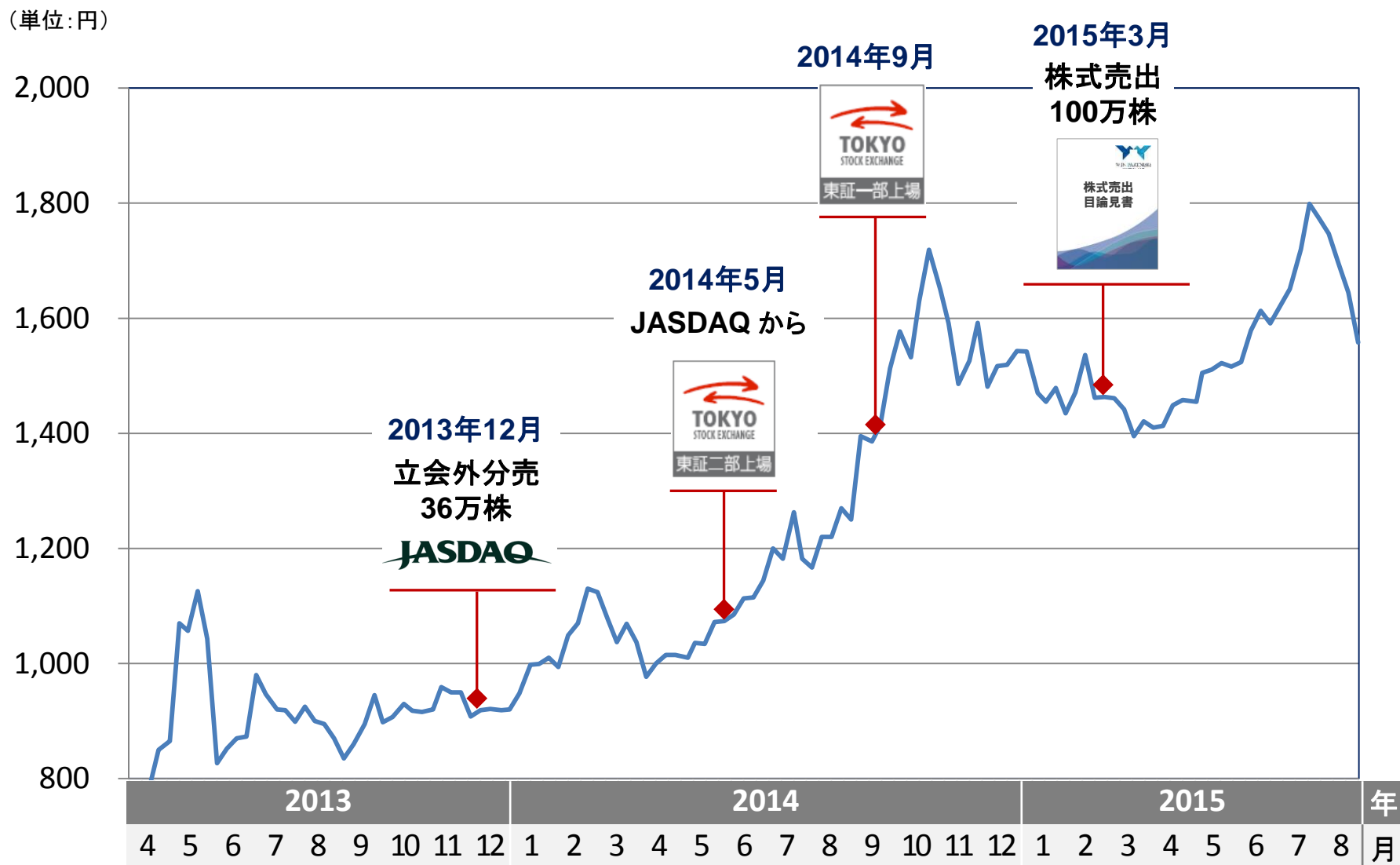
- ◆ 医療制度改革による医療機関の変化
- ◆ 2年毎の保険償還価格※の改定による販売価格の低下
- ◆ 価格競争の激化
- ◆ 技術革新
(画期的な医薬品等の登場による医療機器の使用減少等)

対策

- ◆ バリューアップ支援等の提供
- ◆ 販売数量の拡大
- ◆ 最先端の医療技術、新製品の導入

※ 保険診療に使用できる医療機器の価格。国が価格を決定する。

株価推移



※株価は週の終値



ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」

それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。

三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2015年10月6日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先
ウイン・パートナーズ株式会社 社長室
TEL : 03-6895-1234 FAX : 03-5688-0891
HP : <http://www.win-partners.co.jp>